

平成 23 年 5 月 18 日現在

研究種目：若手研究 (B)

研究期間：2007～2010

課題番号：19730331

研究課題名 (和文) 都市インナーエリアの再編過程に関する社会学的研究

研究課題名 (英文) Sociological Study on a Social Restructuring Process of an Urban Inner-City Area

研究代表者 山本薫子 (YAMAMOTO Kahoruko)

首都大学東京 都市環境科学研究科 准教授

研究者番号：70335777

研究成果の概要 (和文)：

研究期間内において、横浜・寿町地区における高齢化、生活保護率の上昇など人口動態を把握すると同時に、旧来型（自治会、労働組合など）および新来（地域再生を目的とした NPO など）の地域活動の展開状況について分析を行った。当該地区には、生活保護受給を目的とした生活困窮層の移住が進むなど一種の社会的シェルターとして機能している側面があるいっぽうで、戦略的に地域振興財源の確保を図る（自治会などによるギャンブル施設の誘致など）ことにより都市インナーエリアのコミュニティとしての存続が図られていることを確認した。また、横浜市の創造都市政策が進展するなかで芸術活動などを中心とした若手芸術家らが同地区においても活動を開始し、地域団体との協力関係のもと地域活性化の取り組みを進めている。

研究成果の概要 (英文)：

- (1) Demographics and living conditions of new comer residents to the urban underclass area of Yokohama, who are in poor state of the economy and have moved to the area.
- (2) Enforcement assistance to those on welfare recipients in the area and manner of utilization of the lodgings in the area.
- (3) Local revitalization and community development by the community organizations and the public administration.
- (4) Regional activities by new comer NPOs.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007 年度	700,000	0	0
2008 年度	900,000	270,000	1,170,000
2009 年度	800,000	240,000	1,040,000
2010 年度	800,000	240,000	1,040,000
年度			
総計	3,200,000	750,000	3,950,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学・社会学

キーワード：都市、インナーエリア、エスニシティ、グローバリゼーション、再開発、社会的排除

科学研究費補助金研究成果報告書

1. 研究開始当初の背景

横浜・寿町は1950年代に形成された日雇い労働者の街、「寄せ場」である。1980年代後半以降の寿町の社会構造変容は以下の3点からとらえることができる。1) グローバル化にともなう外国人労働者の流入、2) 生活保護受給者増加と福祉への依存、3) ジェントリフィケーション。寿町では1980年代後半から1990年代にかけて外国人労働者が流入したが、バブル経済の崩壊とともに減少した。その後、住民の高齢化、日雇い労働市場の縮小などにもない、現在にいたるまで労働者数の減少と生活保護受給者の増加が著しい。地区内および周辺地域ではホームレスの増加も著しい。同時に、横浜都心部、繁華街に近接し、利便性も高いため周辺地域での高層マンション建設が相次ぎ、新たな住民として都市中間層の流入もみられる。

2. 研究の目的

横浜・寿町地区及び周辺地域を事例として、グローバルゼーションと再開発が都市インナーエリアの変容、再編にいかなる影響を及ぼしたのか、社会学的実証研究に基づき解明する。まず、当該地域に居住する外国人の社会状況を明らかにすることによって国際労働移動の枠組みにおける日本の都市下層、インナーエリアの位置づけを明らかにする。次に、インナーエリアの再開発・観光地区化（横浜中華街・元町周辺地域、みなとみらい21地区など）が地域の社会構造におよぼした変化について解明する。さらに、生活保護層、高齢者層の人口動態、生活史を明らかにする。以上を総合的に分析することで地域の再編構造の解明に努める。

3. 研究の方法

以下の各点について実証的データを収集した。(1) 寿地区の人口構成変化、特に高齢化と生活保護など福祉サービス受給の状況。(2) 寿町が、失業者、ホームレスなど生活困窮者にとっての社会的シェルター空間となっている状況とそこで長期間にわたって地域活動、市民活動を実施している団体とその活動内容について。(3) 特に2000年以降に地域に参入し、活動展開を図っている新たな地域団体、NPOの組織構成、活動内容について。(4) 行政、自治体、新規流入した地域団体によるまちづくりの取り組み状況について。

データ取得方法としては(1)自治体等の既存統計資料の収集、(2)地域関係者への聞き取り・インタビュー、(3)地域活動への参加観察調査などである。

4. 研究成果

(1) 経済不況後の新たな生活困難層の社会状況と寿町地区での生活実態、(2) 地区内で暮らす生活保護層に対する医療、福祉面での支援状況と簡易宿泊所の活用状況、(3) 行政、自治会等を中心としたまちづくり、地域再生事業の状況、(4) アートプロジェクトなど新規参入した団体の活動状況のうち、(1)(2)については地域活動団体への参与観察調査を実施し、データ収集を実施すると同時に、2007年度以降収集を実施してきたインタビューデータについて生活史の観点からまとめ、分析を行った。(3)(4)については、地域団体のうち自治会と寿オルタナティブネットワーク（アート活動による地域活性化を行う市民団体）の活動を中心に資料収集を実施し、ギャンブル施設の地区内への誘致（2007年）にともなう交付金が地域生活環境整備に充てられていく過程とそこでの地域内相互作用について把握し、資料収集を実施した。

研究期間内において、横浜・寿町地区における高齢化、生活保護率の上昇など人口動態を把握すると同時に、旧来型（自治会、労働組合など）および新来（地域再生を目的としたNPOなど）の地域活動の展開状況について分析を行った。当該地区には、生活保護受給を目的とした生活困窮層の移住が進むなど一種の社会的シェルターとして機能している側面があるいっぽう、自治会などによるギャンブル施設の誘致などによって戦略的に地域振興財源の確保を図るなど、都市インナーエリアのコミュニティとしての存続が図られている。

2010年11月には寿町地区と類似点の多い、カナダ・バンクーバー市の都市下層地域DTESを訪問し、地域形成過程、地域での住民活動、行政の取り組みなどに関する基礎的資料を得た。これは今後、都市貧困地区の再開発をめぐる国際比較研究を実施していく上での重要な資料となる。

さらに、横浜文化創造都市スクール（北仲スクール）において2009年度に引き続き、2010年12月～2011年2月の期間にフィールドワークのワークショップを実施した。この過程で地域住民および地域活動関係者らに生活史の聞き取りを行った。これは研究代表者による寿町地区での調査研究およびその成果の社会への実践的還元といえる。

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

1. Kahoruko YAMAMOTO, 'The Changes in the Social Structure and Social Activism in the Urban Underclass Area: A case of Yokohama, Japan', 『都市科学研究』, vol.3: 79-89, 2010, 査読なし.

2. 山本薫子「日本で暮らす外国人の居住問題と支援の取組み」『建築雑誌』2010年8月号、20、2010、査読なし.

[学会発表] (計7件)

1. Kahoruko YAMAMOTO, "The Changes and Restructuring of the Urban Underclass in the Greater Tokyo Area", British Sociological Association Annual Conference 2007, 於: University of East London, 2007年4月13日

2. 山本薫子「都市下層地域における社会構造の変容と再編ー横浜・寿町を事例として」、第33回地域社会学会大会、於: 東京学芸大学、2008年5月10日

3. 山本薫子「都市下層社会の変容と再編ー横浜・寿町の事例から」、第18回山口地域社会学会研究例会、於: 山口大学、2008年7月12日

4. 山本薫子「外国人住民増加が都市コミュニティに与えた社会的インパクトー広島県呉市を事例としてー」、第26回日本都市社会学会大会、於: 法政大学、2008年9月13日.

5. Kahoruko YAMAMOTO, "The Changes in the Social Structure and Social Activism in the Urban Underclass Area: A case of Yokohama, Japan", ISA-RC21 Tokyo Conference, 於: 国際文化会館、2008年12月19日.

6. 山本薫子「都市下層地域の社会構造変容と新たな「まちづくり」の展開ー横浜・寿町の事例からー」、第34回地域社会学会大会、於: 岡山大学、2009年5月9日

7. 山本薫子「「労働者の街」から「福祉の街」へー横浜・寿町における社会構造の変容ー」第27回日本都市社会学会大会、於: 県立広島大学、2009年9月12日.

[図書] (計4件)

1. 山本薫子『横浜・寿町と外国人ーグローバ

ル化する大都市インナーエリア』福村出版、2008年3月.

2. Iwata, M. eds., Poverty and Social Welfare in Japan, Trans Pacific Press: Melbourne, 2008年7月 (共著).

研究代表者は下記論考を執筆。Kahoruko YAMAMOTO, 'Poverty and exclusion as it affects migrant workers from overseas: in terms of employment, housing and consumption', pp.226-240.

3. 近藤敦ほか『非正規滞在者と在留特別許可』日本評論社、2010年11月 (共著).

研究代表者は下記論考を執筆。山本薫子「在留特別許可制度における結婚の集团的側面とロマンチック・ラブの矛盾」、pp.93-109.

4. 寿オルタナティブネットワーク『KOTOBUKI クリエイティブアクション2008-2010』、2011年3月 (共著).

研究代表者は下記論考を執筆。山本薫子「横浜・寿町の歴史と現在」、pp.24-25.

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況 (計0件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

山本薫子 (YAMAMOTO KAHORUKO)

首都大学東京・都市環境科学研究科・准教授

研究者番号: 70335777

(2)研究分担者 ()

研究者番号：

(3)連携研究者 ()

研究者番号：